

さくら咲け

大泉町立西中学校
2023年6月30日(金)
進路だより No.8

<第1回進路希望調査のお願い>

第1回進路希望調査のアンケートを本日配付しました。現時点での考えでかまいませんので、進学を希望するのか、就職を希望するのか、また、希望する高校はどこにするのかをご家庭でよく話し合ってください提出をお願いします。提出締め切りは7月7日(金)です。

<進路を考える上で…>

3年生の夏休み間近ですので、受験したい高校が決まってきている人も多いと思いますが、はっきりとしていない人もいるかもしれません。そこで、進路について迷っている人が進路を選ぶにあたってヒントになりそうなことをいくつか紹介します。参考にしてください。

1. 自分は何がしたいのかを考える

ただ「高校へ行く」というところから、「じゃあ、どの高校?」と考えても、なかなか思いつかないでしょう。それよりも、「理科や数学をもっと頑張りたい」とか、「部活を頑張りたい」など、自分がやりたいと思うことや目的をハッキリさせておくと、「理数科を設置している学校」とか「〇〇部の活躍している学校」「スポーツ科のある学校」など、具体的に絞り込んでいくことができます。



2. 自分の適性を考える

「手先が器用で、機械をいじるのが好き」という人であれば工業高校や工業高等専門学校が進路が考えられそうです。「将来は介護の仕事に就きたいと思っている」という人であれば在学中に「介護福祉士」の資格取得を推奨・支援している高校もあります。自分が何に向いているのか、という点と高校の特色が一致すれば、その高校が志望校となる可能性は高いと思います。

3. 自分に向かないことを考える

上の2つと逆の発想です。理科や数学が苦手な人が「理数科」に進学すると苦労すると思います。絵を描くのが苦手な人が美術コースに進学するなんて想像すらできないと思います。そうやって、消去法で選ぶというのも、「不本意入学」にならないようにするためには必要かもしれません。

4. 情報収集と活用

上のようなことを考えるためには情報が必要です。進学後に、「ええ、こんな学校があったのか…。」なんてことにならないようにするためにも、自分で情報を集める努力が必要です。様々な学校をネット上で見ることも大切ですが、やはり、自分の目で見てくることを大切にしてほしいです。学校見学会・説明会・体験授業など積極的に参加して、たくさんの情報を得ていきましょう。

<問題集販売のお知らせ>

群馬県公立高校の過去問題集のサンプルと購入用封筒が業者より届きました。入試対策として購入を希望される場合には、本日配付した封筒にご署名の上、代金1,100円を添えて、学校までご提出ください。問題集については書店やインターネットでも購入可能ですので各ご家庭で必要に応じて対応をお願いいたします。

過去5年分の問題については、群馬県教育委員会のホームページでも確認することができます。ただし、国語の問題については、著作権の問題で本文が一部省略されています。また、英語のリスニング問題については音声ではなく、リスニング原稿が掲載されています。

提出締め切りは7月6日(木)

